

■ハイセイコー記念 (SII) アラカルト (過去 49 回の分析)

※第 1 回 (昭和 43 年) から第 33 回 (平成 12 年) までは「青雲賞」の名称で実施

※第 35 回 (平成 14 年) から第 36 回 (平成 15 年) までは大井ダ 1590m で実施

※第 22 回 (平成元年) は 2 頭が 3 着同着

※記録は平成 29 年 10 月 1 日時点

■ 1 番人気馬の 3 着内率は約 7 割

単勝 1 番人気馬は 18 勝、2 着 9 回、3 着 7 回で 3 着内率が 69.4% となっている。なお、単勝 2 番人気馬は 8 勝、2 着 12 回、3 着 5 回で 3 着内率が 51.0%、単勝 3 番人気馬は 8 勝、2 着 8 回、3 着 7 回で、3 着内率が 46.9% だった。

■ 約 7 割の回で 3 番人気以内の馬が勝利

過去 49 回のうち 34 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 18 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 6 回あった。

■ 牝馬は 5 勝、外国産馬は未勝利

牝馬の優勝例は第 6 回のオロマツホース、第 10 回のリマンドタイコウ、第 23 回のフジノリニアア、第 29 回のセイントサブリーナ、第 44 回のドラゴンシップと、計 5 回ある。なお、外国産馬の優勝例はまだない。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「8」

騎手別の勝利数を見ると、的場文男騎手が 8 勝で単独トップ、高橋三郎騎手が 4 勝で単独 2 位、赤間清松騎手と宮浦正行騎手が 3 勝で 3 位タイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録は「4」

調教師別の勝利数を見ると、矢作和人調教師が 4 勝で単独トップ、朝倉文四郎調教師が 3 勝で単独 2 位となっている。

■外寄りの枠番が好成績

枠番別の勝利数を見ると、11勝の8枠が単独トップ、9勝の7枠が単独2位となっている。また、馬番別の勝利数を見ると、5勝の2番、4番、6番、7番、10番、11番がトップタイだった。なお、未勝利の馬番は14番と16番だけだ。

<伊吹雅也>